



# Executive Interview

エグゼクティブ  
インタビュー

no.43

このコーナーは神奈川トヨタのお客様である経営者の方にお話を伺うコーナーです。

有限会社 サンワ工業 会長

## 山本 昭義 様

海老名市を拠点として、県内を中心に鉄筋業を営む、有限会社 サンワ工業。事業を始めて約30年、会長の山本昭義氏に、建造物の要となる鉄筋業に対する思いなどを伺いました。

### ■ 図面から拾い出し、 正確に組み立てる

#### ——まずは業務内容を教えてください

コンクリート建造物の骨組みとなる鉄筋を加工して、現場へ運び組み立てるとい仕事です。対象はビルやマンション、一般の家などいろいろです。その物件に沿ったものを、事務所で図面を描いたうえで加工し、現場にいるスタッフに渡して組み立てます。大きいものになるとクレーンなどを使って組み立てます。そこに仮枠を作りコンクリートが打ちこまれます。

図面に、ここには何本使用するというように書いてあって、その図面通りに加工します。その作業を私たちは「拾い出す」という言葉を使うのですが、図面から間違いなく拾い出して、間違いのないように組み立てていくということです。

#### ——具体的にはどのようなものを手がけているのですか？

神奈川県内の学校やオフィスビル、ショッピングセンターなどもやりました。あとは一般の家、マンションは数知れないですね。建物だけでなく橋梁や高速道路などを手がけることもあります。圏央道も50kmくらい手がけました。

#### ——創業されたのはいつ頃ですか？

昭和60年頃から始めました。40歳代前半でした。建築業界に職人として入って、2~3年のうちに独立しようと思っていました。いろいろな業種があるなかで、初めは鉄筋業に抵抗がありました。結構きつい仕事ですし。そうこうしているうちに、ひよんなことがきっかけで鉄筋業をやることになりました。建物の骨組みをつくる重要な仕事ですし、やりがいや達成感も感じられました。

創業当初は、2人でやっていました。



ちょうどバブル期へ向かう頃でしたが、下請けという形でやっていたので、バブルの恩恵というものはあまり関係がありませんでした（笑）。加工場という作業する場所も当時は持っていませんでしたが、それができた頃から徐々に事業を大きくしていくことができました。

### ■ 安全管理の徹底で事故を防止

#### ——従業員の皆様のチームワークを高めるために心がけていることは？

まずは現場の安全管理です。毎月安全



# 図面を読み取る正確な技術で 街を支える

協会で講習会があり、そこで事故防止の講習を受けて、持ち帰ってみんなと共有しています。建築現場では思いもよらぬ事故が起きる場合があります。脚立の上から落ちたり、重機が動いているところに挟まったり、砂が崩れてきて身体が埋もれたり、事故は意外と多いんです。手袋は、現場で電動工具を使用する時は絶対に使用してはいけません。手袋が機械に引っかかって手が巻き込まれてしまうことがあるからです。素手ならちょっと当たただけでも気付いてパッと避けますから、切れても指先くらいでおさまります。このような情報を講習会で学びみんなに伝えます。当社ではサンワ会という会を作って、2か月に一度社員を集めて話をして、注意喚起をしています。夏の暑い時期になると熱中症対策なども口を酸っぱくして伝えています。

また、朝礼を担当ごとに集まってやっています。調子が悪いときは必ず報告することを徹底し、一人作業は絶対にするなと指導しています。一人作業が一番危ないんです。ドンと落ちても気づかれず死亡事故につながる場合もありますから。過信したときに落とし穴があるとも言いますし、何が起こるか分からないから気が抜けません。

**——注文を受けるには信頼が第一だと思えます。信頼を得るために大切にしていることは？**

それはやはり、仕事をきちっとこなし、工期を守っていいものを作る。いいものを作れば喜んでくれますからね。もちろん安全と品質を守ることで、信頼を得られるように努めています。



社員の小林隆さんが第1回全国鉄筋技能大会（2015.10.17開催）にて神奈川県代表に選出されました。

## ■ やりがいを実感できる人材育成

**——若い人材に育ってもらうためにはどのようにお考えですか？**

やはり勉強させなきゃダメですね。この仕事は意外と難しいんですよ。勉強することはいっぱいあります。いろんな資格を取らせたり、技能試験を受けさせたり。いろいろと社内外に教育の場もありますので、当社の離職率はそんなに高くないです。

**——いろいろ勉強することでやることも増えていくということでしょうか？**

もちろんです。手に職をつけるというのは、怖いものなしなんです。だからどこ行っても技術で飯が食える、というくらいにならないと意味がないと思います。

自分が現場を取めて、俺がやったんだという感情を持たせてあげられれば一番いいんでしょうね。結果的には建物が残る。昔の職人はよく言っていましたよ。道を通るたびに、「ここは俺が造ったんだ」というようなことを。

## 有限会社 サンワ工業

〒243-0410  
神奈川県海老名市杉久保北4丁目34番23号  
TEL：046-237-1800 FAX：046-237-1801

**——まさに街づくりに関わっていくという感じですね。**

そうですね。できあがってみれば楽しいというか、俺でもできるんだというような達成感がありますね。

**——仕事を離れてされていることはありますか？**

趣味は囲碁や将棋、釣りですね。釣りは基本的に磯釣りです。船で磯にわたって、一日ぼーっとしているのがいいですね。主に伊豆半島や伊豆七島、房総にも行きます。釣りの魅力は、糸を垂らした時の竿先を見ている時間と、引っかかった時の手ごたえですね。何が来るんだろうという未知の世界に対する思いです。狙った魚がいつもかかるとか限りませんが、それはそれで楽しい。最近行けてないので、そろそろ行きたいですね。



## <インタビューを終えて>

図面通りに正確に仕事をこなす。さらりとおっしゃっていましたが、正確な仕事には高い技術と知識が必要で、職人さんの日々の鍛錬がうかがわれます。私たちが暮らしている所に使われている鉄筋。当たり前のように過ごしている安全な日常をこの技術が支えてくれているのだと感じました。